

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
高等学校	和歌山県立日高高等学校 中津分校	山本 直樹
学校所在地		
〒644 - 1121 和歌山県日高郡日高川町西原357番地 Tel 0738(54)0226 Fax 0738(54)0879		
担当者名		役職名・担当教科
北又 一弘		教諭・理科 情報科 総合的な探究の時間
<p>〔学校の概要〕 昭和24(1949)年和歌山県立日高高等学校 船着分校として設立され、昭和31(1956)年に和歌山県立日高高等学校全日制中津分校と改称され現在に至る。普通科各学年1クラスで全学年51名(全学年の約4割が県外生徒)の分校である。在校生のほとんどが硬式野球部で、全員寮生活を送り、日々練習に励んでいる。教育目標は、①学習意欲を高め学力の向上をめざす。②規律のある生活習慣を身につけ、目標を持った意欲的な高校生活を送る。③自らの進路を切り拓く力の育成をめざす。④地域との連携を深め、ふるさとを理解し特色ある学校づくりをめざす。の4点である。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等(延人数)	主な活動場所
学年 1年生 14名	職員 2名	本校周辺、熊野参詣道、熊野那智大社、青岸渡寺
実践研究テーマ		
地域の歴史・文化を学び、その魅力や課題の発見と、課題に取り組む力の育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な探究の時間	地域学習	
<p>〔キーワード〕 地域の魅力 地域の遺産とは 世界の遺産とは 熊野参詣道 保全活動 地域振興</p>		
<p>〔単元目標〕 ・地域が持つ歴史的、文化的、自然的な魅力等に対して理解を深める。 ・世界遺産講座や現地学習を通じて、その価値を理解するとともに、その課題についての考察をする。 ・ものごとを様々な角度から捉える視点を養う。</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数(世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名/教材名)〕 全体 20 時間 (「 地域学習 / 世界遺産の価値 」 10 時間)</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 和歌山県世界遺産センター … 次世代育成事業 日高川交流センター … 日高川町の文化に対する学習</p>		

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	地域観察 (日高川町中津・上初湯川周辺)	自分たちの学校の周辺にはどのような自然があり、集落があるのか、また、それが人々の暮らしにどう関わっているのかに注目させる。	(学びに向かう力、知識及び技能、判断力) 観察 積極的な態度 コミュニケーション
2	世界遺産学習	ワークシートやICTを使用し、世界遺産に関する情報を調べるとともに、ユネスコが世界遺産を認定する基本的な基準や意義を学ぶ。	(学びに向かう力、知識及び技能、表現力) 観察 積極的な活動 ワークシート
3	世界遺産講座	世界遺産センターの職員により、世界遺産や「紀伊山地の霊場と参詣道」について基本的な知識を学ぶ。	(学びに向かう力、知識及び技能、思考力) 観察 ワークシート
4	現地活動	大門坂～熊野那智大社～青岸渡寺～那智の滝 現地において歴史・文化や自然環境を学習し、世界遺産のすばらしさを体験し、理解する。	(学びに向かう力、知識及び技能、人間性、表現力、思考力、行動力) 観察 自己評価
5	ふりかえり	学習したことを振り返り、まとめる。アンケートにより、どのくらい学習が深まったのか確認する。	(学びに向かう力、思考力、表現力) 表現方法の工夫 自己評価

〔単元学習の成果と課題〕

成果 事前学習から講義や現地学習を組み合わせながら、世界遺産を柱とした地域学習に結びつけ、我々が住む地域の価値や魅力をどうやって見つけ、守っていくかを学ぶことができた。特に現地学習において歴史や文化、人々の生活等における生徒の気付きという点では感想文よりかなりの成果があったと考える。
生徒は県外出身者や地元地域外出身者が多く、また野球一筋になりがちな学校生活の中で、将来、社会人として身につけてほしい、多様な角度からの考察力や、自身の考えを表現する力の育成に成果を出すことができた。

課題 考察力や表現力の中身の深さや精度は、まだまだ伸びしろがあり、互いに感じたことを表現し合いながら、それぞれの関わり方についてより模索していけるような、グループワークや発表の場を築いていきたい。また将来、必ず必要となるコミュニケーション能力についても醸成できればと考える。

〔世界遺産学習の効果〕

世界遺産を通して、和歌山県の歴史や文化等を学ばせる。また和歌山県出身の生徒には和歌山県の良さを再発見させ、郷土愛の醸成を図る。他府県出身者には「和歌山県の良さを知る」という観点を目的とする。
熊野古道は巡礼の道というだけでなく、自然とそこに暮らす人々の生活との融合が、さらなる価値を生み出し、歴史を積み重ねているということ学ぶことで、人間の立場からのみならず、そこに存在する事物の立場から、ものごとを捉える視点を学ぶことにつながった。また、郷土に対して、自分自身に何ができるかについて改めて見直すことができる貴重な機会となった。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

今年度で和歌山県世界遺産センターの「次世代育成事業」は3年目になる。過去2年とは違うコースであり、当初予定していた道普請が出来なかった。事前学習ではもう一つ生徒の興味や関心がどのくらい引き出せるか不安な面もあったが、現地学習では期待以上の刺激があったように感じられた。生徒にとって現地での学習や体験を通して、身近な地域への関心を高め、積極的に取り組む姿勢を導き出すので、今回の取り組みを踏まえ、事前学習をさらに改善、工夫し、プログラムが持つ魅力と有効性が生徒の成長により活かされるような計画を立てたいと考える

様式 2

令和5年度 次世代育成事業における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

～参加生徒の感想～

大門坂

○豊臣秀吉が植えた杉の大木が凄かった。この大木が今の時代まで受け継がれていることに何か惹かれていくものがありました。

○この道が今でも残っていることに感動し、神聖な所であるという空気を肌で感じる事ができた。



熊野那智大社

○那智大社を参拝するにあたって、マスターの方より水で清める方法や参拝するときには2礼2拍手1礼という作法を教えて頂き、勉強になりました。

○那智大社へ辿り着く頃には足が重くなって辛かったが、那智大社から見え景色のお陰で心が癒されました。偶然、二重の虹も見ることができ、とても幸運でした。

○マスターの方から階段の数は467段で先を「読むな」という語呂合わせや、那智大社の屋根の男女の違いなどを分かりやすく解説して頂いたのが印象的でした。



那智青岸渡寺

○青岸渡寺では寺の詳しい歴史について、たくさんお話を聴かせて頂き、歴史の奥深さを知ることができました。

○青岸渡寺から見える三重の塔や那智の滝の景色はすばらしいものがありました。



那智大滝

○日本一高く、豪快な那智の滝を見て感動しました。私は愛知県から来ていますが、和歌山県の世界遺産を見て、多くの知識を得ることができ、とても良い経験になりました。世界遺産について教えてくれたマスターの方に感謝しています。

○和歌山県の世界遺産にふれることができ、とても幸せな気分になりました。

○和歌山県で15年も生きてきたが、和歌山県世界遺産を一度も訪れたことがなかったので今回とても良い経験ができました。

○私は大阪から来ていますが、和歌山県の世界遺産を見て、世界遺産のことをもっと知りたくなったので、これからも興味を持ち続けたいと思います。

○家族や友だちをつれて、また、和歌山県の世界遺産を訪れたいです。

